

# 泌尿器講座

## 前立腺がん検診



いしい腎泌尿器科クリニック院長

石井 達矢

●(いしいたつや)1999年(平成11年)山形大学医学部卒業。同大附属病院、市立病院済生館、公立西脇総合病院勤務などを経て2020年5月、いしい腎泌尿器科クリニックを開業。医学博士、日本泌尿器科学会認定専門医、日本医師会認定産業医。

前立腺がんは日本の男性で最も多いがんで、高齢化に伴って今後も増加が続きと予測されています。初期には症状が出にくいのが特徴で、大切なのは早期発見です。

### PSA検査が第一

前立腺がんの一次検査として広く利用されています。

PSA(前立腺特異抗原)検査です。PSA値が高いと前立腺がんの可能性が高まりますが、前立腺肥大症や炎症でも上昇するため、必ずしもがんとは限りません。

PSA値が高かった場合でも、すぐに前立腺がんと診断されるわけではありません。必要に応じて

MRIや血液検査、組織を顕微鏡で調べる生検などを組み合わせて診断を確定します。

### 進行する前に発見

PSA検査で発見される前立腺がんは、比較的にリスクの低い段階で見つけることが多く、治療後の生存率が良好であることも報告されています。

一方、症状が出てから受診して見つかる「臨床診断がん」は、進行がんや転移を伴う割合が高いことが分かっています。これらの点から、PSA検査は進行した状態での発見を減らす可能性があると考えられます。

### 過剰治療につながる?



ただ、前立腺がんはゆっくり進行する例が多く、中には治療が不要なケースもあります。

そのため、「PSA検査は過剰治療や不要な精密検査につながる」との指摘もあり、検査結果の受け止め方は個々の状況に応じた判断が必要で

### 50歳を迎えたら

前立腺がん検診は、住

民検診、人間ドック、職域健診などさまざまな場で受けられます。大切なのは、年齢、家族歴、生活背景などを踏まえ、自分に合った検診の受け方を選ぶことです。

50歳を迎えたら、前立腺がんの早期発見につなげるためにも、PSA検査について医療機関に相談してみましょう。

〈泌尿器科・内科〉

いしい腎泌尿器科クリニック

☎023-616-3601 山形市桜田西4-17-49

●診療時間  
午前/9時00分～12時30分  
午後/14時30分～18時00分

●休診日  
木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

